

あに

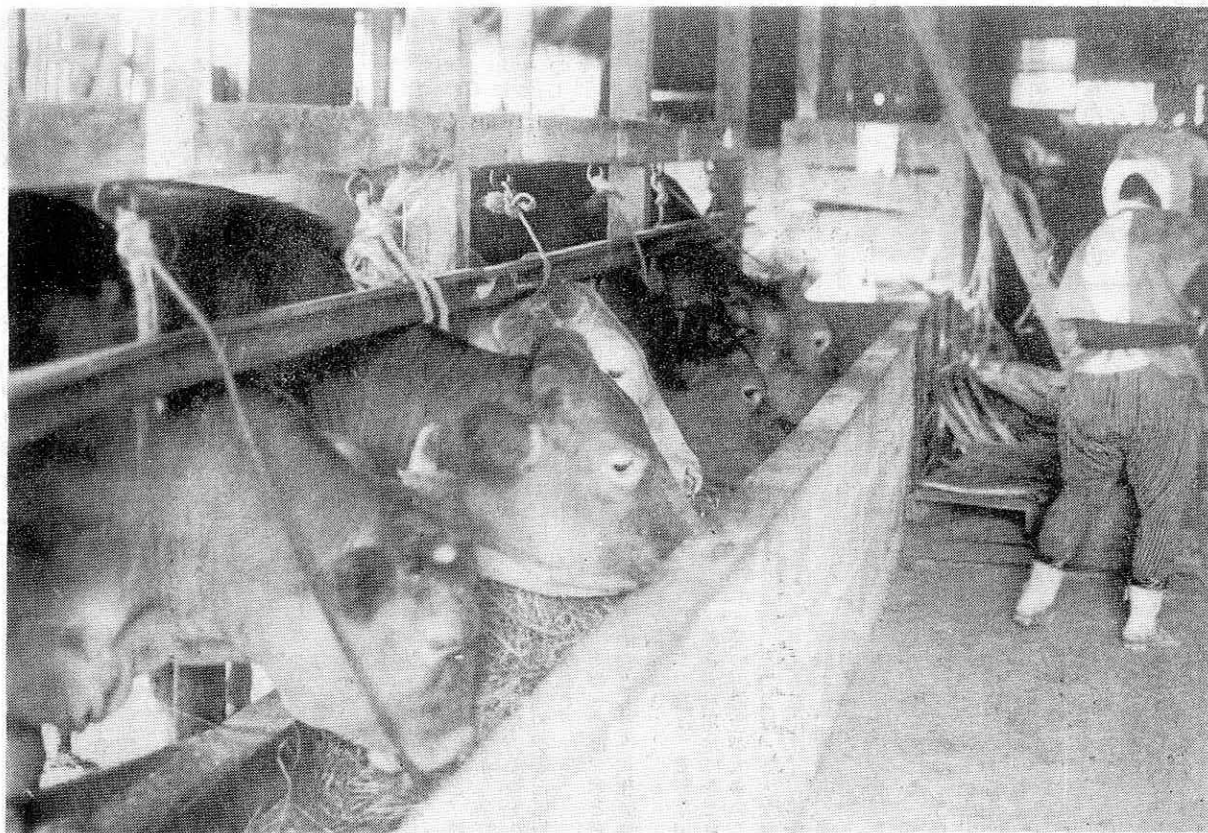
編集と発行 秋田県阿仁町役場統括課
印刷所 秋田県阿仁町阿仁合印刷所

121号

'72

9月

領 価 10 円



モリモリ食べて、モリモリ肥って、63頭の牛を肥育する吉田部落の和牛肥育センター。

牛肥ゆる秋

ク天高く馬クその馬がすっかり影をひそめた最近、牛がそれに変わりつつある。稲刈りも始まり、収穫のよるこびにひたる牛肥ゆる秋です。

こゝ、吉田部落にある阿仁町和牛肥育センターでは、去年の秋に購入した仔牛が、一年たつた今、もりもりと肥った成牛となつて、出荷の日を待っている。

和牛の多頭飼育のモデルケースとして注目されるセンターは、一昨年の秋に法人組織として発足し、現在、六十三頭の牛が、一人の管理人の手によつて飼育されています。

購入当時は、二百キロだった仔牛も、わずか一年で五百キロ以上に肉付き、こうした、肥育技術の指導を果たすのもセンターの役割の一つです。

畜産は、将来の農業の柱として、町でも積極的に奨励しているところであり、本年は、さらに一戸当り三〇頭飼育で、十戸の希望農家があり、肉牛主産地をめざす町の畜産事業も着々と目標を目ざしています。

町の人口

7,879人

(7人増)

男 3,754

女 4,125

世帯 1,826

(1世帯減)

転入 29人

転出 10人

出生 6人

死亡 8人

47年8月31日現在住民
基本台帳人口による

昭和47年の町づくり

阿仁町

開発基本構想

シリーズ 1

開発基本構想は、町の自然条件および現状をつぶさに分析し、課題と発展的契機、それと、住みよい町づくりを目ざし将来の施策を描いたものです。

私たちの町は、自然条件および立地条件に恵まれず、永年にわたるへき地性と、慢性化した過疎問題など、きびしい現実のさ中にあります。

反面、恵まれた自然資源の活用など、発展的要素も多く、基本構想では、農業経営の近代化、森林資源の効果的活用、および観光開発、道路網の整備、生活近代化に伴う環境の整備、生涯教育の推進などの、諸施策がもりこまれていきます。

町の現状

まず町の現状を見てみます

昭和六〇年をメドとした「阿仁町開発基本構想」がまとまりました。

これは、町の理想像として、これからの町づくりの青写真ともいふべきものです。

この開発構想を実現するためには、町民一体となつての協力が必要であり、みなさんのご理解をいただくために、今回から、その主な内容をシリーズとしてお知らせ致します。

すと、当町は、自然的には広大な山岳地帯に囲まれ、全町面積の九四％が山林原野であり、こうした特殊な立地条件が、道路網をはじめとする各産業の開発を阻害しています。

平坦地に恵まれない農業は、零細規模農家が多く、その殆んどが兼業農家であり、また、恵まれた山林資源も、充分に開発されておらず、未利用地の活用などの課題が残されている。

一方、町の中心産業として発達してきた鉱山は、資源枯干つにより、休業状態にあり、工業の主体をなす製材工場も小規模経営の実情にあります。

こうした産業の停滞は、若年層の町外流出と、就業人口の減少となつて表われ、急激な過疎化と、住民所得の低額を提しています。

また、生活の近代化に伴う生活環境面での立ち遅れも著しく、全体的にへき地の後進的特性を有する町となつています。

そうした中にも、近年、農業近代化をめざして大巾な土地改良事業、畜産の振興、林道網の整備など、開発の足がかりがすめられ、また、鉱山は、有望鉱床の確保により、操業再開のメドにあり、生活環境面では、ゴミ処理事業、簡易水道の

着工など、新時代をめざして、諸施策が推進されつつあります。

このような現状からして、町の主要課題は次の三つになると考えられます。

○健康と生活を高める福祉社会の開発

○生産性の向上のための産業の開発

○生涯教育の推進と人間能力の開発

発展の可能性

こうした現状と、課題を考へてみた場合、当町にはそれなりに、特性を生かした、発展的要素と可能性があります。

その一つは、米と畜産を中心とした近代化農業が可能なこと。

二つ目は、豊富な山林資源と未利用地に恵まれ、開発の可能性が大きいこと。三つ目は、拡大な鉱山を有する鉱山は、有望鉱床が確保され、将来共、発展の余地がある。

四つ目は、国道および鉄道の開通に伴ない、観光地としての発展と、県都秋田市の休養自然公園としての機能を発揮できるなど、あらゆる面での、開発の可能性を秘めています。

こうした、課題と、発展性の上に立つて、六〇年後の町の未来像を求めて、その具体的施策については、次号シリーズで紹介いたします。

献血ありがとうございます

津田さんが
毎回献血

献血車「あかつき号」による本年度二回目の献血が八月二十二日、支所と役場前で行なわれ、七十五人の方より献血に協力いただきました。

当日は、八十八人の献血申し入れがあつたのですが、十三人の方が、血液の比重や血圧の関係で採血できず、せつかくの善意をいかされませんでした。が、体調を整え、次回にぜひ協力くださるよう、お願いいたします。

また、巡回献血がはじまつてから、今回で十回目となりますが、今町下浜の津田浩史さんは、今回で十回目、毎回献血協力者としてその善意に、関係者から深く感謝されています。

なお、本年度中にもう一度献血を実施する予定ですので、その折は、よろしくご協力くださるようお願い致します。

○献血者名 敬称略受付順（支所前）

松橋金美、高堰キミ子、松橋時一、伊東健二郎、松橋寛、西根博、佐藤忠悦、高堰エ、千葉喜久蔵、吉田恵央、山田芳男、松橋栄子、佐藤チヨ、奈良キヌエ、沢田石キヲ、工藤アヲ、斎藤忠治、松橋秋元、田中昭三、亀山忠厚、高木隆、菊地一彦、松橋満男、成田千

鶴子。

（役場前）

三沢忠行、村上九助、鈴木幸治、佐藤修助、伊藤一夫、佐藤キミエ、上杉セツ子、加藤妙子、加藤幸男、坂本俊雄、平山寿広、佐藤牧子、伊東昇一、斎藤徳五郎、津田浩史、斎藤市蔵、近藤竹雄、加賀谷昭一、佐々木正信、柴田金五郎、上杉良子、伊藤鉄治、近藤ミツ、佐原征四郎、黒沢米吉、佐藤栄蔵、斎藤宏一、佐藤克好、大野賢一、相馬栄一、辻セツ子、数藤常子、数藤明、佐藤弘二、辻一明、越前谷正光、工藤公一、加賀谷光治、伊東郷美、林初子、佐々木敏、工藤邦夫、八田延子、伊東孝徳、柳谷昭蔵、石田一夫、斎藤俊雄、鈴木鉄男、松岡ミツ子。

統計調査で知事賞

三枚の戸嶋清勝氏

三枚の戸嶋清勝さんは、九月十九日、秋田市産業会館で行なわれた第十九回秋田県統計大会で、優良調査員として表彰され、知事賞を受賞しました。

戸嶋さんは、永年にわたる統計調査に従事し、その実績が顕彰されたものです。情報化時代の今日、統計調査は、ますます必要性が高められています。それが、こうした調査員の協力があるからです。

これを機会に、戸嶋さんの今後の一層の活躍を期待し、受賞を心からおよろこび申し上げます。

より巧く なごやかに町民体育祭

銀山地区が初優勝



健康と融和
クをモットーに
第七回町民体育
祭は八月二十日
阿仁合中学校グ
ランドで、七地
区から約一千名
の選手役員が参
加して行なわれ
ました。
時おり雨が降
るといふ悪いコ
ンディションに
もかゝらず、よ
り速く、より
巧くと、個人あ
るいは団体種目
をめぐって熱戦
を展開、その結果、総合成
績で銀山地区が初優勝しま
した。
競技は、百米、四百米、
一、五〇〇米などの個人種
目をはじめ、たるころがし
夫操縦法、はこびや競走、
つな引などの団体競技が、
男女年令別にわたつて行な
われ、また、ことしから新
に竹馬競走も加わり、多彩
なプログラムで賑わいまし
た。
競技の合い間に披露うさ
れた郷土芸能では、各地区
から独得の出し物が紹介さ
れましたが、中でも、比立
内地区の駒踊りと獅子踊り
の勇壮な舞は、観衆を圧倒
し、すぐれた郷土芸能の健
在ぶりが示されました。
総合成績および団体競技
の一位は次のとおりです。

▽総合成績	優勝 銀山地区	二一七点
二位	水無	一八五
三位	荒瀬	一七〇
四位	比立内	一三七
五位	吉田	一三六
六位	中村	一一四
七位	中田	一〇九
▽団体競技一位	たるころがし	銀山地区
はこびや競走	銀山	水無
夫操縦法	水無	銀山
つな引き	銀山	水無

成人を迎え、今日、この
よろこびと感激にひたれる
のも、ひとえに両親をはじめ
諸先生先輩各位のご指
導によるものと、心から感
謝いたします。

成人の誓い



渡部一美くん

無知な私達を、今日まで
導いてくださり、本当に有
難うございました。

これから、一人の大人
として、自分で道をきり開
かねばなりません。いまま
では、未成年のために甘ん

若し未熟な私達には、そ
の道を通すことのむずかし
さと困難さを克服するには
まだ力不足です。きびしい
社会の現実の体験もわずか
です。当然、挫折の局面を
むかえるでしょう。その際
は、どうか、私達のよき導
き役として、みなさんの叱
責のムチをお願いいたしま
す。

町に住む私達の仲間、若
い人は少なくなりました。
でも、私は、このふるさと
に人間の生きがいを見い出
し、一本の道をきり開きた
いのです。

はたちを迎え、その喜び
と、所感の一端を申し述べ
誓いのことばといたします

楽しくはたちの門出

百六十名が出席
成人式
はたちの門出を
祝うことしの成人
式は、八月十五日
阿仁合中学校で、
百六十一名の新成
人が出席して行な
われました。

夏、成人式はこ
として四回目、お
盆のさ中とあつて
多数の帰省者が参
加し、色とりどり
の軽装で、久方ぶりに合う
友達と肩をたゝいたり、握
手をしたり、旧交を温めあ
う姿が印象的でした。
式では、町長をはじめ、
来賓より、新成人の門出を
祝してお祝と激励のことば
があり、また、成人を代表
して渡部一美くん（小沢、
丸伊商店阿仁合出張所勤務
）が、「新たな気構えで、
自主独立の精神をもつて社
会を切り開きたい」と、誓
いを述べ、さらに、渡政雄
（荒瀬）、松橋敬（此立内
）、佐藤信子（水無）、上

秋の農作業協定賃金が決まりました。
この賃金は、昨年の賃金を基準に、その後の物価指数等を
参考にして町の農業委員会で決定したものです。
秋の農作業は、この協定賃金を励行しましょう。

10a 当り

種 目	性別	47年度 標準額	脱穀機 自送型 手扱型	男	1,100円
稲	刈	刈取全	1,950円 3,200	女	1,000
				男	1,100
刈	刈	刈取全	1,100	女	1,000
				男	1,100
乾 燥 及 び	刈	刈取全	1,100	男	1,100
				女	1,000
収 納	刈	刈取全	1,000	男	1,100
				女	1,000

一日は原則として、8時間労働であること。但し休憩時
間を除く。賄支給、現物給与は廃止する。

8時間を超過した場合は1時間当り基本賃金の20%以内
で、加算支給する。

収穫の秋 農作業は協定賃金で

杉セツ子（長畑）の四人が
成人をむかえた感想発表を
行ないました。
式典後、門出と今後の健
康を祈念してブドウ酒で乾
盃、心づくしの赤飯を食べ
ながら、ことし初めての趣
向である青年会の芸能発表
を觀賞し、さらに、成人者
によるフォークソングや、
芸能飛び入りなどがあつて
現代つ子らしい、にぎやか
な一幕もありました。
ことしの該当者は二百九
十八名、百六十一名の出席
者のうち三分の二以上が町
外参加者でしたが、四十余
名の地元在住者の、今後の
町づくりの原動力としての
活躍を期待いたします。

子どもと老人をみんなで 交通事故から守ろう

▼秋の全国交通安全運動

▼9月22日～10月1日

緑と花のソビエト

海外青年研修参加報告

小 様 戸 嶋 悦 男

今回の研修の目的は、日本海時代の到来にあたり、国際的視野を広め、新しい感覚をそなえた次代の青年を育成しようというのがねらいであり、十四日間の訪ソの旅は、途中、各地にお



同行の通訳と赤の広場で

私達一行は、八月十四日午後四時半、秋田港からソ連船ブリアムーリエ号で出発、福井県の青年百五十名と合流し、楽しい船旅をつづけた。

翌十五日午後五時に、ナホトカ港に到着、はじめて見る外国の地に、期待に胸をおどらせながら第一歩を踏み出した。

ナホトカでは、全員で日本人墓地を参拝、こゝで感懐したことは、参拝する私達一行に、附近の市民が自分の庭の花を取つてさしのべてくれたことです。

生活は決して豊かとは見えませんが、こゝに接して、私達は、すがすがしい旅の第一歩を送ることができたのです。

ナホトカでは、全員で日本人墓地を参拝、こゝで感懐したことは、参拝する私達一行に、附近の市民が自分の庭の花を取つてさしのべてくれたことです。

生活は決して豊かとは見えませんが、こゝに接して、私達は、すがすがしい旅の第一歩を送ることができたのです。

ナホトカでは、全員で日本人墓地を参拝、こゝで感懐したことは、参拝する私達一行に、附近の市民が自分の庭の花を取つてさしのべてくれたことです。

生活は決して豊かとは見えませんが、こゝに接して、私達は、すがすがしい旅の第一歩を送ることができたのです。

肩こりは枕が原因

「肩こり予防はまくらから」。春から血圧測定の一部巡回をして感じたことは、ほとんどの人が肩こりを訴えているのです。茶の間の会話に使われ、ほとんど日本人は肩こりが多いそうです。外国の医者の本には肩こりとい



特に冬の枕はやわらかく大きな肩をすっぽり包んでくれる洋風の枕にするか、肩ぶとんを当てるか、とにかく肩をひやさない寝かたが肩こりを予防するコツです。

善意

老人ホームに
プレゼント

八月中旬に、老人ホームへ次の方々

の慰問がありました。▽東奥の西岡清美さんは、琴のお弟子さん十名と一緒に、沢山のお菓子を持参し、琴十数曲を演奏してくれました。

同日、銀山の梅村イマさんからサイダー六〇本を老人達にプレゼントされました。

▽大野台農業学園の工藤園長は、か二名の職員から、ナス、トマトなど、たくさん果物をいただきました。

▽長崎県の福島秀治さんという方が訪れ、ハモニカの演奏で老人達をたのしませてくれました。

慶弔だより8月

◎ こんにちは・赤ちゃん

お名前 保護者 住所

加賀谷誠男 (直人) 新中

佐藤 洋子 (正一) 比立内

神成 忍 (修三) 下新町

佐藤恵子 (俊夫) 大町

加藤 純 (勉) 畑町東裏

関 慎太郎 (求) 〃

◎ 結婚・おしあわせに

(福原 三郎 神奈川県 高堰 昭子 比立内)

その真剣な姿は、こつけないといよりは、例え人種言葉の違いはあっても、若者の心は同じ、青年同志の連帯意識の表われであり、友情、心、とすべてが通じあえたと思つていきます。

世界は平和でなければ、そして、どこの国の青年ともこうして語り合え、平和な時代がくることを、心から願わずにはいられません。

また、十四日間、黒パンを主食とした馴れない生活で六キロも体重がやせ、スマートになったこと、これも尊い経験の一つでした。

紙面の都合で、充分にお伝えできませんでしたが、研修に対する皆さまのご厚情を心からお礼申し上げます。

私の訪ソ報告と致します。なお、記念写真も揃えてありますので、いつでもお寄りいただければ、体験談を深めたいとお待ちしております。

(相原 行男 秋田市 松橋津谷子 幸屋渡)

伊東ジュン (68) 伏影

松橋仁五郎 (79) 岩ノ目沢

庄司 キサ (85) 上新町

梅村 教吉 (83) 大町

伊東 広吉 (78) 伏影

柏木 孝幸 (29) 上新町

春日 寛 (40) 〃

斎藤リヤ (60) 老人ホーム